

岡山県感染症週報

2011 年 第 23 週 (6 月 6 日 ~ 6 月 12 日)

◆2011 年 第 23 週 (6/6 ~ 6/12) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 21 週 2 類感染症 結核 2 名 (60 代 男 1 名、20 代 女 1 名)

第 22 週 2 類感染症 結核 1 名 (40 代 女)

第 23 週 4 類感染症 日本紅斑熱 1 名 (60 代 男) の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

○手足口病、ヘルパンギーナなど夏に流行が見られる感染症が、今週も増加しました。

○水痘の発生が、増加しました。

■【速報】第 23 週 腸管出血性大腸菌感染症 2 名 (O121 10 代 男、O26 10 代 女)

第 24 週 腸管出血性大腸菌感染症 3 名 (O26 幼児 男、O26 60 代 女、
O26 乳児 女) の発生がありました。

1. **手足口病**の定点あたり患者報告数は、今週も増加しました (4.80 → 7.31 人)。岡山市、倉敷市、備前地域、真庭地域、美作地域では、大きな流行が発生または継続しつつあると考えられる発生レベル3 になりました。
2. **ヘルパンギーナ**の定点あたり患者報告数は、今週も増加しました (1.31 → 1.96 人)。
手足口病、ヘルパンギーナについては、今週の注目感染症 をご覧ください。
3. **水痘**の定点あたり患者報告数が増加しました (42 → 71 人 定点あたり 0.78 → 1.31 人)。岡山市 (0.71 → 1.43 人)、倉敷市 (0.55 → 1.27 人) 備前地域 (0.90 → 1.50 人) で発生が増加しました。
4. **腸管出血性大腸菌感染症**の発生が 6 月になり増加しています。今年、県内での発生は 15 件、うち 5 件は 6 月の発生です。腸管出血性大腸菌感染症の発生は、例年 6 月から 9 月にかけて多くなります。有症者の 6 ~ 7% で溶血性尿毒症症候群 (HUS) を発症し、死に至ることもあります。生肉や加熱不十分な食肉を食べない、食品は十分加熱して食べる、調理器具、手指の洗浄・消毒を十分にするなど感染予防につとめましょう。なお、『全数把握感染症患者発生状況』の表への記載は第 24 週以降になります。

流行の推移と発生状況

疾 病 名	推移	発生状況	疾 病 名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓	★	RSウイルス感染症	↓	
咽頭結膜熱	↘	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★
感染性胃腸炎	→	★★	水痘	↗	★★
手足口病	↗	★★★★★	伝染性紅斑	↗	★★
突発性発疹	↘	★★	百日咳	→	★
ヘルパンギーナ	↗	★★	流行性耳下腺炎	↘	★★
急性出血性結膜炎	↓		流行性角結膜炎	↗	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	→	★	クラミジア肺炎	→	

【記号の説明】

前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少 ↘ 1.1～2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↗ 1.1～2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加

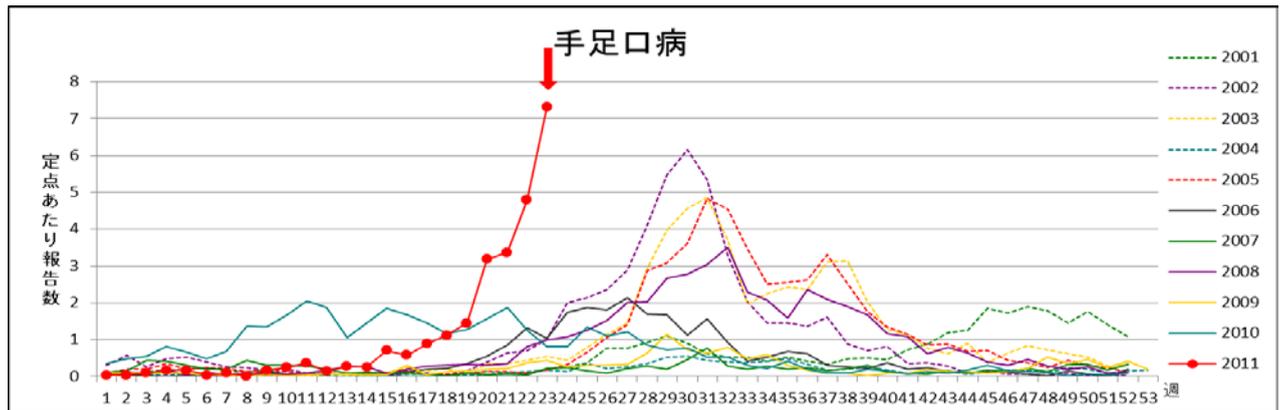
流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い
 ※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

今週の注目感染症

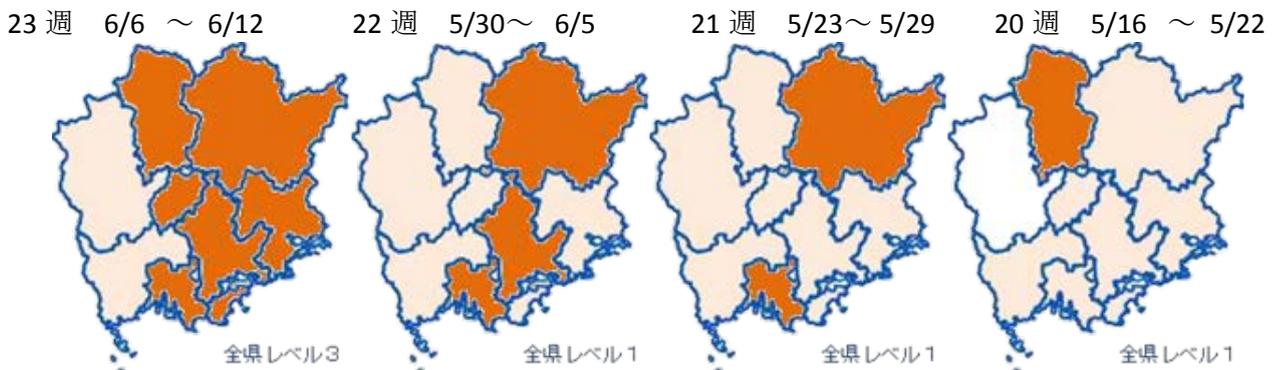
手足口病の定点あたり患者報告数は、先週より大幅に増加しました（259 → 395人 定点あたり 4.80 → 7.31人）。岡山県では、今年は過去10年に比べ患者発生の時期が早く、定点あたり患者数も多くなっています。

患者数は、倉敷市（8.45 → 12.55人）、備前地域（2.30 → 5.30人）備中地域（1.29 → 2.29人）、備北地域（1.00 → 1.25人）、真庭地域（4.00 → 14.00人）、美作地域（7.00 → 13.00人）で大幅に増加し、岡山市（5.71 → 5.50人）では少し減りましたが、前週同様患者発生の多い状況でした。県内全域で発生が増え、岡山市、倉敷市、備前地域、真庭地域、美作地域では、大きな流行が発生または継続しつつあると考えられるレベル3になりました。

手足口病は、夏に幼児を中心に流行する感染症です。1歳が最も多く、ついで2歳、3歳の順で、3歳以下で全体の80%を占めています。発熱は軽度で、口腔粘膜および手のひら、足底や足背に2～5mmの水疱性発疹が出現するのが特徴です。通常、予後は良好ですが、高熱や頭痛・嘔吐がひどい場合には髄膜炎の合併も考えられますので、早めに医師の診察を受けましょう。



岡山県地区別 感染症マップ 手足口病 2011年23週



手足口病

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
5	2		0 < 5未満	0

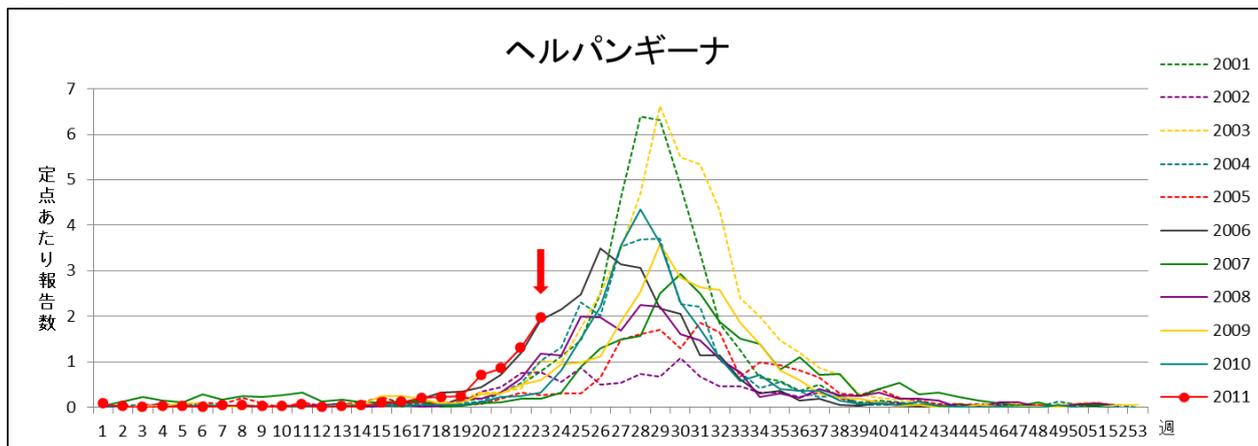
レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます

ヘルパンギーナの定点あたり患者報告数が増え（71 → 106人 定点あたり1.31 → 1.96人）、特に備前地域（0.30 → 1.20人）、美作地域（0.83 → 3.67人）では発生が増えました。

ヘルパンギーナは夏に流行する幼児の急性ウイルス性咽頭炎で、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。例年、7月中旬に流行のピークがみられ、今後さらに発生の増加が考えられます。

患者の年齢は3歳以下がほとんどで、1歳が最も多く、ついで2歳、3歳の順に多くなり、4歳以下で全体の80%を占めています。

症状は、突然の発熱につづいて咽頭痛が出現し、口腔内に直径1～2mmの小水疱が出現するのが特徴です。



ひきつづき、夏に流行が見られる感染症の発生が増えています。保育園、幼稚園などでは集団発生する可能性もあります。

いずれの感染症も通常予後は良好ですが、口腔内の小水疱が破れて痛みを伴うため、食べ物や水分の摂取ができにくくなり、脱水症につながる場合がありますので注意が必要です。

体調を崩しやすい時期です。お子さんの体調の変化に注意して、早めに医療機関を受診しましょう。

保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3
数字 は感染症マップにおいて レベル2 を示しています

保健所別報告患者数 2011年 23週 (2011/06/06～2011/06/12)

2011年6月15日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	5	0.06	3	0.14	1	0.06	-	-	1	0.08	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	11	0.20	4	0.29	4	0.36	1	0.10	-	-	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	0.96	13	0.93	23	2.09	2	0.20	7	1.00	-	-	-	-	7	1.17
感染性胃腸炎	267	4.94	47	3.36	37	3.36	80	8.00	24	3.43	34	8.50	11	5.50	34	5.67
水痘	71	1.31	20	1.43	14	1.27	15	1.50	4	0.57	2	0.50	2	1.00	14	2.33
手足口病	395	7.31	77	5.50	138	12.55	53	5.30	16	2.29	5	1.25	28	14.00	78	13.00
伝染性紅斑	17	0.31	6	0.43	2	0.18	3	0.30	1	0.14	-	-	1	0.50	4	0.67
突発性発疹	24	0.44	14	1.00	3	0.27	2	0.20	3	0.43	-	-	-	-	2	0.33
百日咳	2	0.04	-	-	-	-	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	106	1.96	39	2.79	28	2.55	12	1.20	3	0.43	-	-	2	1.00	22	3.67
流行性耳下腺炎	59	1.09	10	0.71	20	1.82	16	1.60	11	1.57	-	-	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	0.42	1	0.20	1	0.25	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	0.60	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 23週 (2011/06/06～2011/06/12)

2011年6月15日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	5	0.06	3	0.14	1	0.06	-	-	1	0.08	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	11	0.20	4	0.29	4	0.36	1	0.10	-	-	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	0.96	13	0.93	23	2.09	2	0.20	7	1.00	-	-	-	-	7	1.17
感染性胃腸炎	267	4.94	47	3.36	37	3.36	80	8.00	24	3.43	34	8.50	11	5.50	34	5.67
水痘	71	1.31	20	1.43	14	1.27	15	1.50	4	0.57	2	0.50	2	1.00	14	2.33
手足口病	395	7.31	77	5.50	138	12.55	53	5.30	16	2.29	5	1.25	28	14.00	78	13.00
伝染性紅斑	17	0.31	6	0.43	2	0.18	3	0.30	1	0.14	-	-	1	0.50	4	0.67
百日咳	2	0.04	-	-	-	-	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	106	1.96	39	2.79	28	2.55	12	1.20	3	0.43	-	-	2	1.00	22	3.67
流行性耳下腺炎	59	1.09	10	0.71	20	1.82	16	1.60	11	1.57	-	-	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	0.42	1	0.20	1	0.25	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第23週 2011/06/06～2011/06/12)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	5	-	1	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

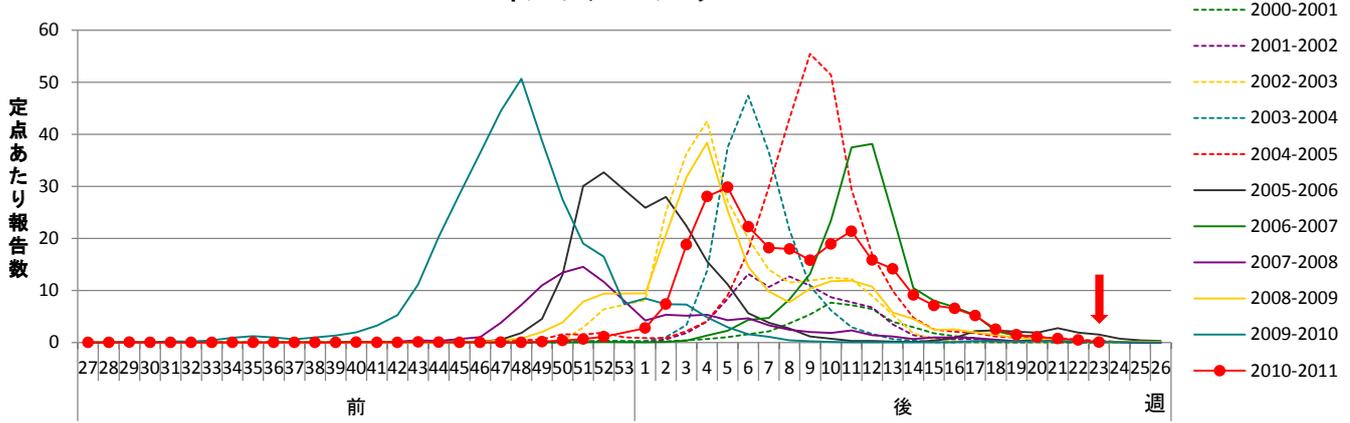
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	11	-	-	4	1	-	1	3	-	1	1	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	-	-	3	2	6	8	10	4	5	7	4	1	1	1
感染性胃腸炎	267	4	14	36	24	30	20	21	8	7	7	12	36	14	34
水痘	71	1	5	15	6	11	9	6	1	6	6	1	2	1	1
手足口病	395	6	45	152	78	48	27	13	11	3	-	3	4	-	5
伝染性紅斑	17	-	-	3	-	1	2	4	2	2	2	-	-	1	-
突発性発疹	24	1	14	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
ヘルパンギーナ	106	1	3	32	22	15	16	9	5	1	1	-	1	-	-
流行性耳下腺炎	59	-	-	2	5	13	6	8	7	8	2	1	4	2	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-

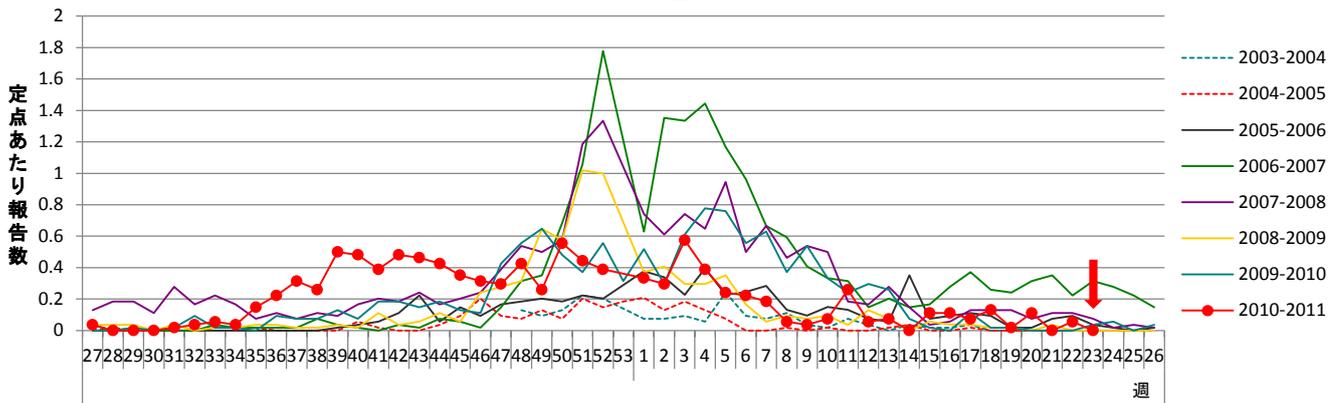
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

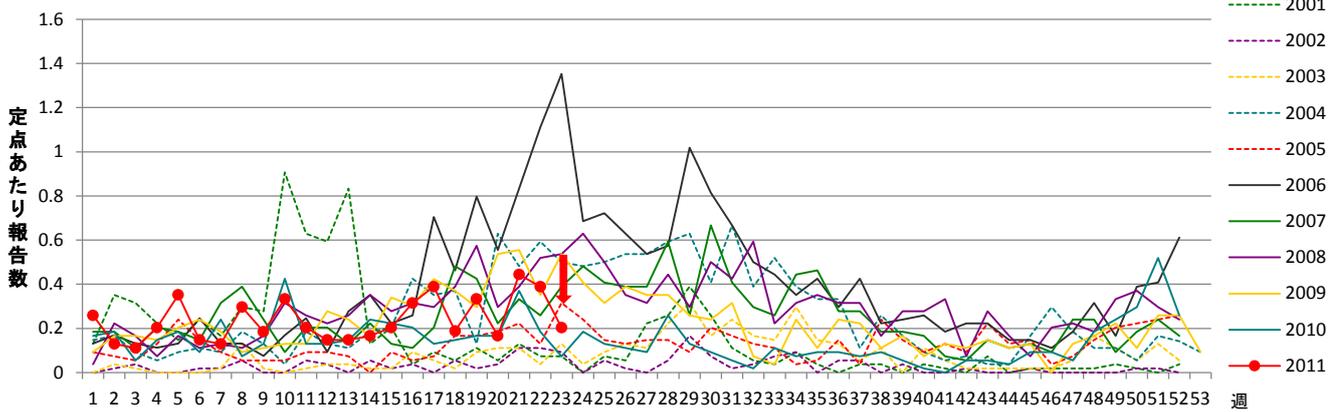
インフルエンザ



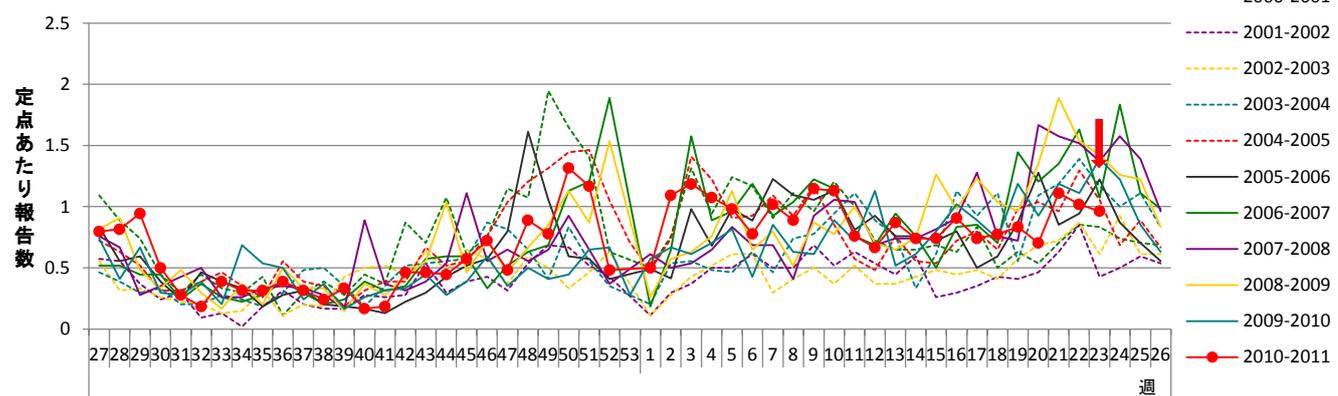
RSウイルス感染症



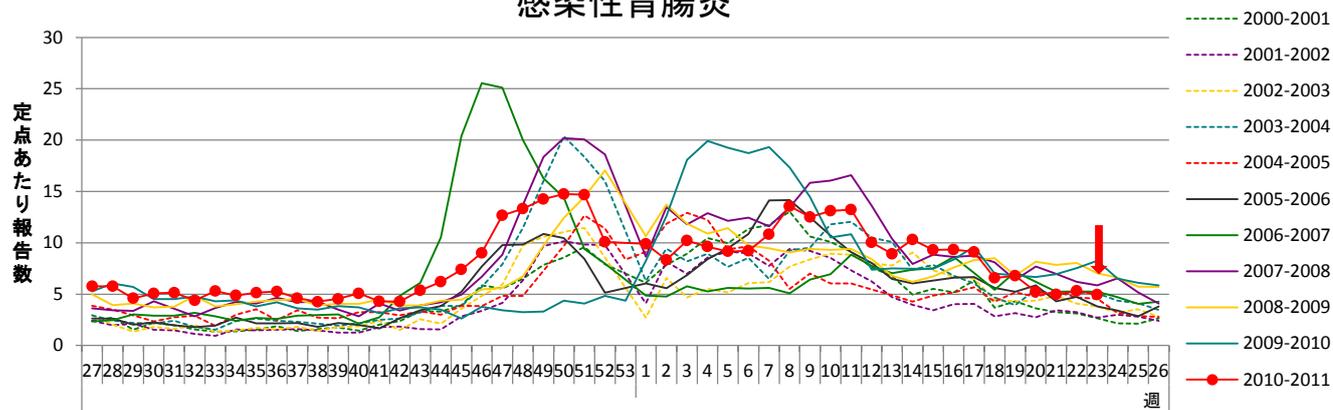
咽頭結膜熱



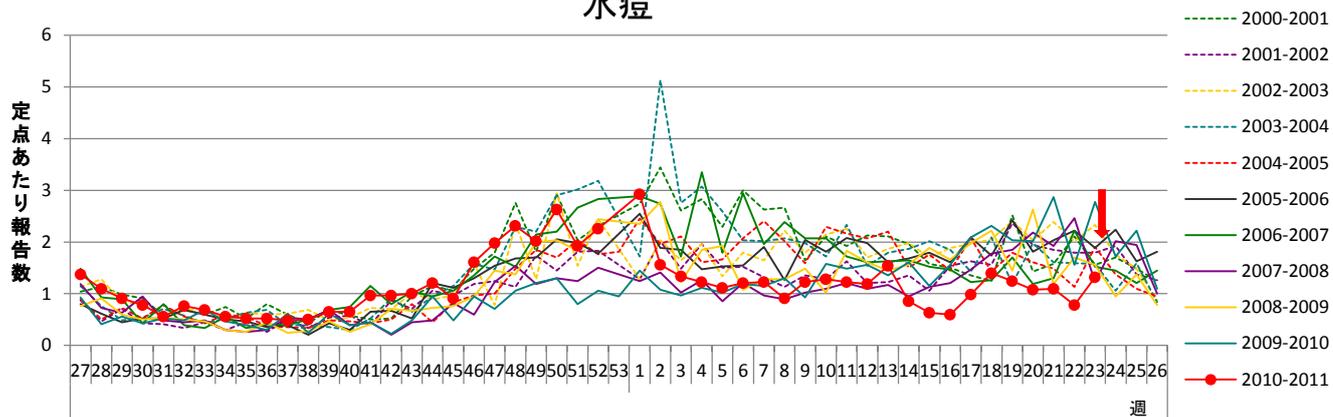
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



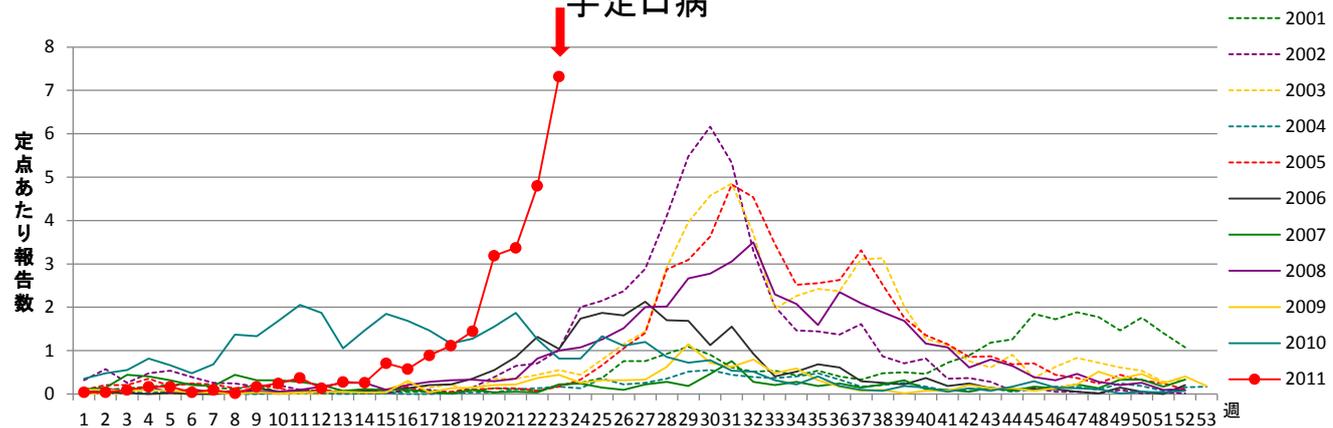
感染性胃腸炎



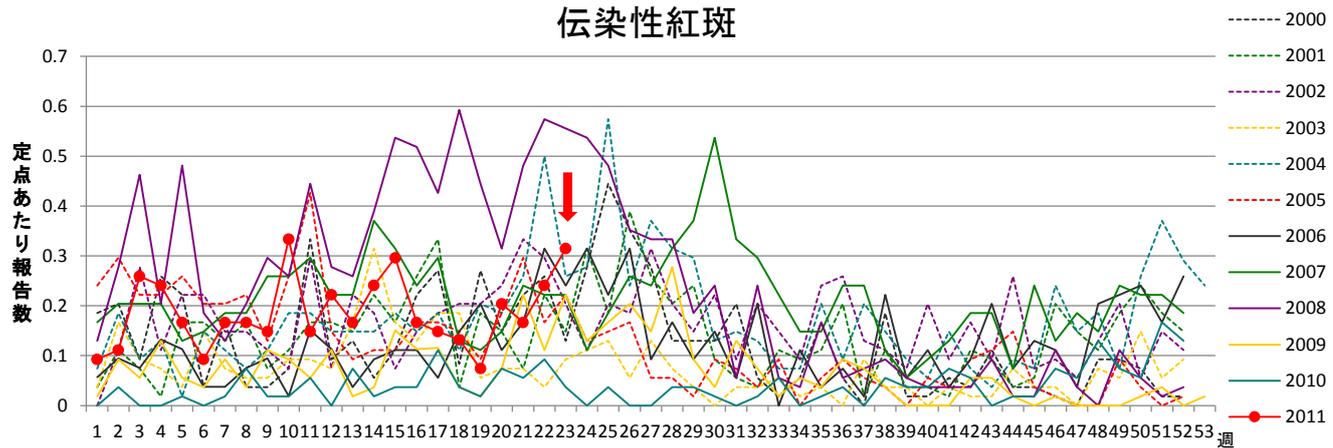
水痘



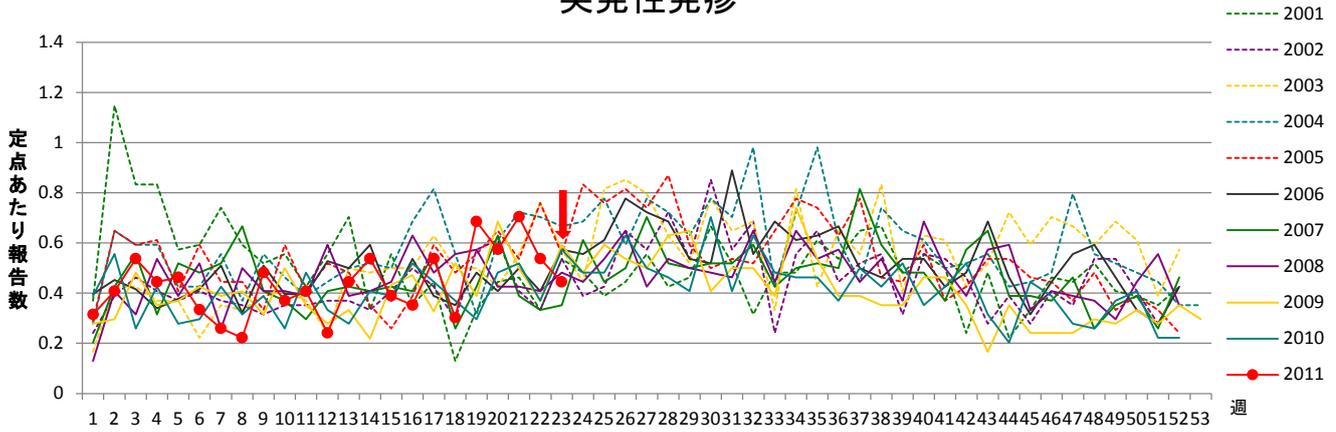
手足口病



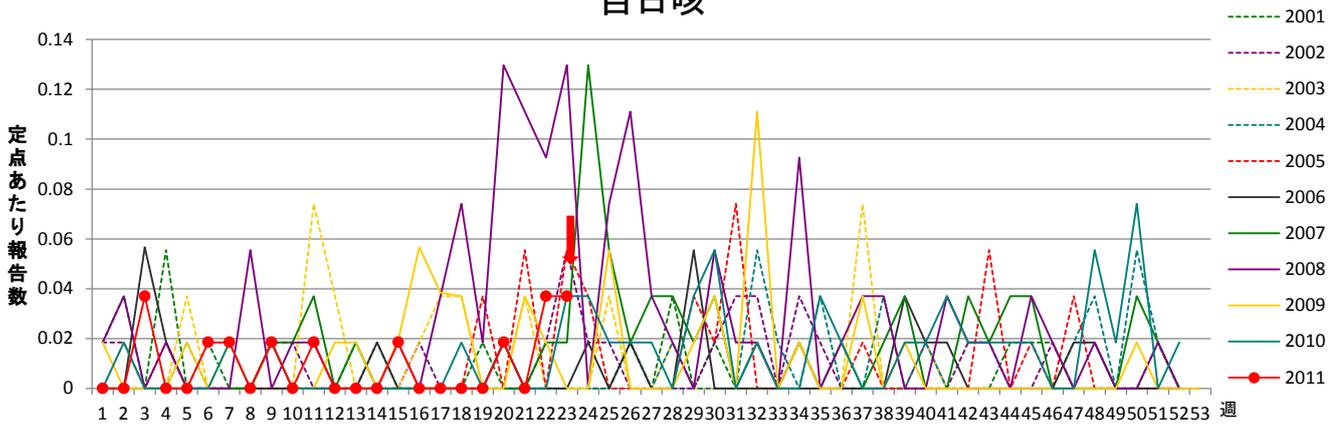
伝染性紅斑



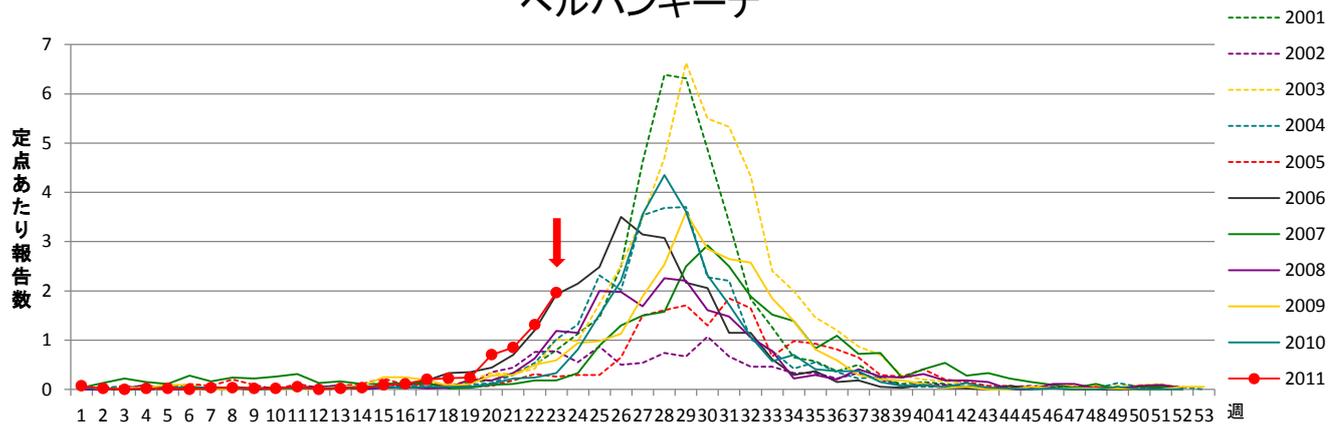
突発性発疹



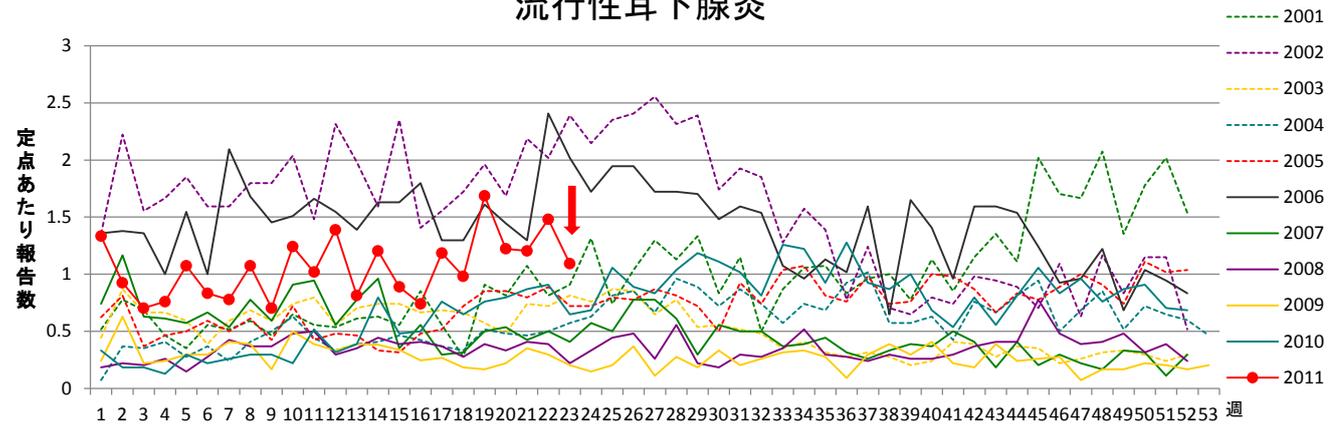
百日咳



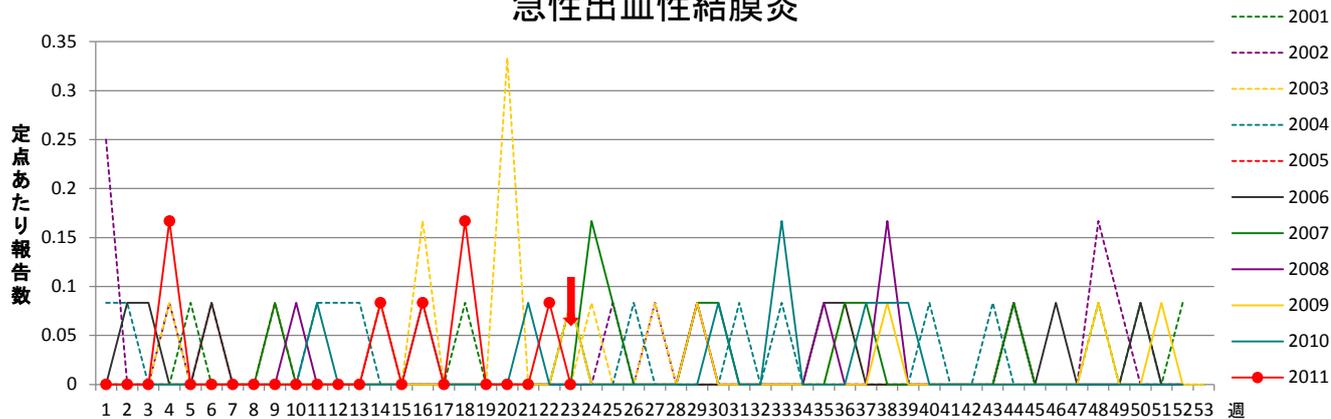
ヘルパンギーナ



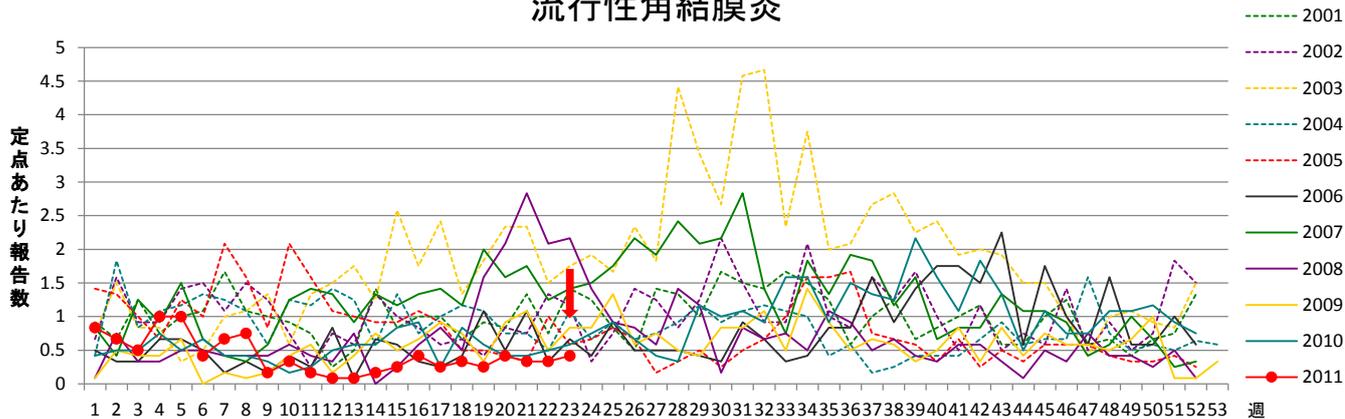
流行性耳下腺炎



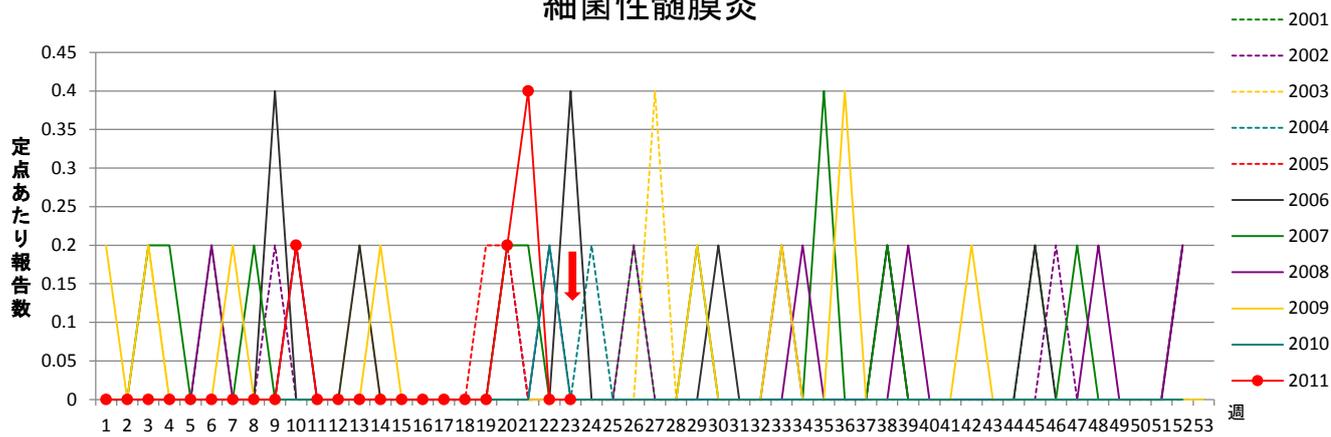
急性出血性結膜炎



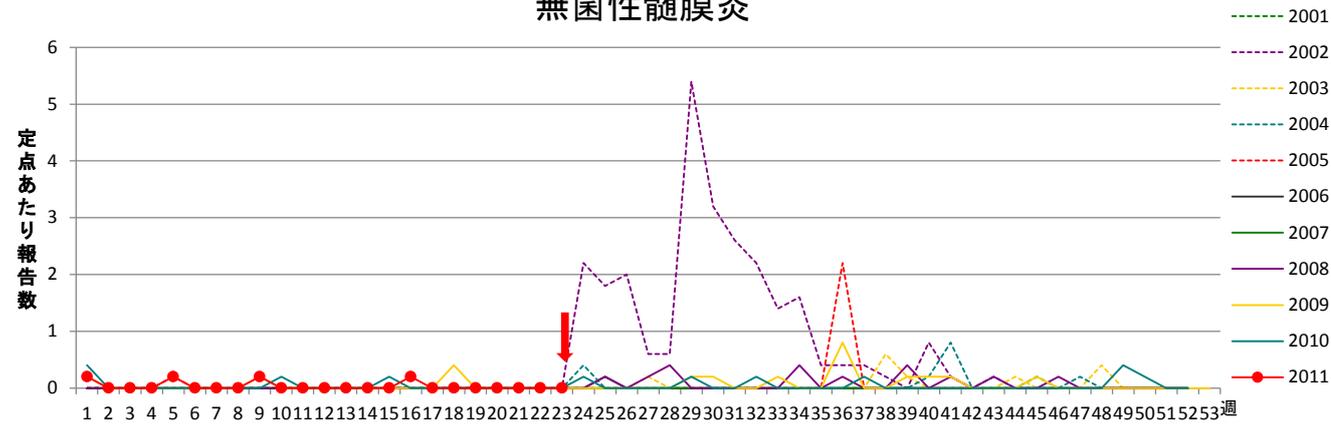
流行性角結膜炎



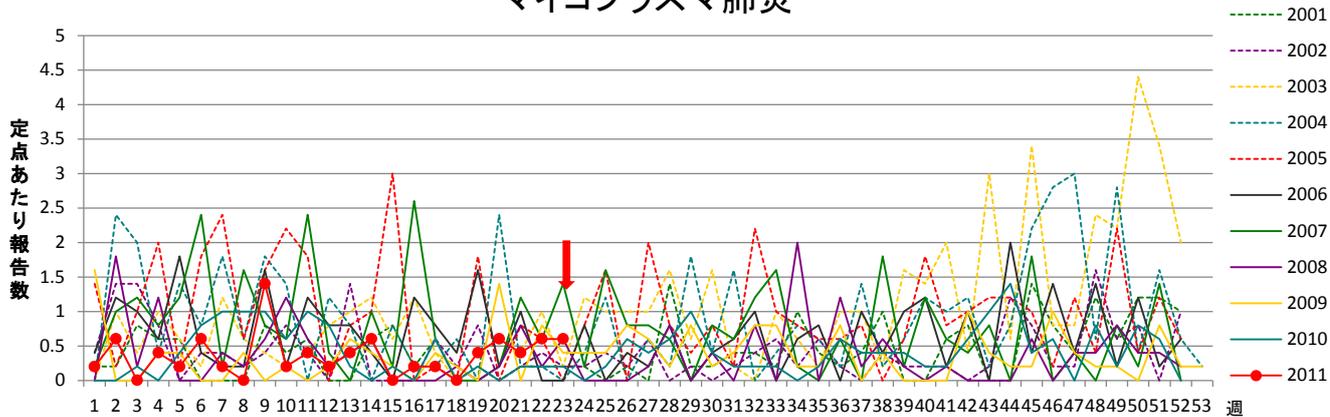
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

